

非漢字圏学習者のための漢字語彙学習ストラテジー尺度の開発

広島大学 渡部 倫子

研究成果要約

1. 研究活動の概要

非漢字圏出身の日本語学習者にとって、字形・意味が複雑で、なおかつ膨大な量の漢字の学習は、困難を極めるものである。学習者の学習ストラテジー使用の傾向を把握することで、まだ使用したことのないストラテジーに対する気づきを促し、学習をより速く、効率的・効果的に、楽しく (Oxford, 1990) することができることを期待される。学習者の言語学習ストラテジー使用の傾向を明らかにするためのアイテムとしては、Oxford (1990) のSILL (Strategy Inventory for Learning Language) がよく知られている。漢字学習の分野においては、すでに漢字学習ストラテジーの尺度および調査用質問紙として、SILLのストラテジー分類をもとにしたSILK (Strategy Inventory for Learning Kanji) がBourke (1996) によって開発されている。しかしながら、SILKは文字・表記としての「漢字」の学習について扱うストラテジーの項目がほとんどを占めており、漢字学習のもう一つの側面である「漢字語彙」学習についてのストラテジー項目は極端に少ない。また、ストラテジー尺度 (質問紙) の効果的な利用のためには、大まかな内容のストラテジー項目よりも、より多くのストラテジーを網羅した項目が必要であると考えられる。そこで本研究では、非漢字圏出身の学習者のための漢字学習ストラテジー尺度の開発を目的として、学習者の漢字学習ストラテジーについてのインタビューを非漢字圏学習者25名、日本語母語話者15名を対象に実施する。このインタビューで得られたストラテジー項目をもとに質問紙を作成し、日本語学習者・日本語母語話者各150名に対してアンケート調査を実施する。その後、探索的因子分析を行い、ストラテジー項目の分類を行い、漢字学習ストラテジー尺度および質問紙の開発を試みる。

2. 研究成果の概要

本研究では、非漢字圏学習者に対するインタビューの結果から、非漢字圏出身の学習者が漢字語彙を学習する際に用いるストラテジーを特定し、その特徴を明らかにしたうえで、漢字語彙学習ストラテジーの分類を試みた。

まず、インタビューの結果、学習者は漢字という文字の持つ「表意性」という特徴を生かし、語彙の意味推測を行うストラテジーを取り入れていることが分かった。また、近年急速に普及したスマートフォンなどのIT機器を用いた学習方法が多く報告された。また、テレビ番組を視聴する際に、字幕やテロップによって日本語の会話の

音声が可視化できることを学習に生かしている学習者がいることも分かった。このようなストラテジーは、学習者の学習行動の観察だけでは得ることのできない結果であったと考える。また、中村（1997）等の先行研究で明らかにされていた「文脈の使用」について、「読む」「書く」双方について、数種類の具体的なストラテジーを明らかにすることができた。学習者がどのような文章を読んでいるのかを教師が知ることで、文の性質に応じた手助けが可能になるのではないかと考えられる。

アンケート調査の結果からは、既存の漢字学習・語彙学習ストラテジー研究では報告されてこなかった「使用促進」「自然な文脈」「注意喚起」のストラテジー分類を発見することができた。また、日本語母語話者と日本語学習者との間で、因子モデルには大きな違いが見られないことが明らかになった。これには、調査の対象とした日本語母語話者が、漢字学習を盛んに行っていた時期より数年を経てから回答を行っていることにより、回答の傾向に差が出なかったことが原因として考えられる。

3. 成果活用について

日本語学習者・日本語母語話者を対象にインタビューを実施したことにより、具体的に詳細な漢字語彙学習ストラテジーのリストを作成することができた。このリストを参照することにより、漢字学習の方法に悩む学習者に新たな学習方法のアイデアを提供することができると考えられる。

4. 今後の研究課題

一方、「漢字語彙学習ストラテジー尺度」としては、未だ完成にはいたっておらず、さらに多くの調査対象者を募っての検証的因子分析の実施を通して、尺度としての完成を目指していきたい。

研究成果報告

1. はじめに

1-1. 問題の所在

日本語学習者の多くは、漢字学習を非常に困難に感じている。母語に漢字を持たない非漢字圏出身の学習者ではこの問題は特に顕著である。

加納(1997)では、漢字は仮名文字やアルファベット文字などと比べて格段に複雑な「字形」を持つ上に、その「字形」が「読み(音声)情報」を持つだけでなく、「意味情報」や「用法情報」をも併せ持った表意文字であることが、また、1字で1語として文中で使われるもの、熟語の構成成分として機能するもの、その両方の用法があるものがあり、実に情報量の多い文字であるということで、非漢字圏出身の学習者にとっての漢字学習を困難にさせる要因であると指摘されている。これにもかかわらず、漢字・漢字語彙の数は膨大で、そのすべてを教師が教えることは、現実的なこととは言えない。学習の初期を除く漢字学習の大半は、学習者の自学・自習に委ねられることがほとんどである(加納、1997; 横須賀、1999)。しかしながら、すべての漢字・漢字語彙を教えることはできなくとも、学習者の学習ストラテジー使用の傾向を把握することで、学習者に学習ストラテジーを指導し、漢字学習を成功に導くことが可能であると期待される。学習者の言語学習ストラテジー使用の傾向を明らかにするためのアイテムとしては、Oxford(1990)のSILL(Strategy Inventory for Learning Language)がよく知られている。漢字学習の分野においては、非漢字圏学習者の漢字学習ストラテジーの尺度および調査用質問紙として、SILLのストラテジー分類をもとにしたSILK(Strategy Inventory for Learning Kanji)がBourke(1996)によって開発されている。しかしながら、SILKは文字としての漢字の学習を想定した学習ストラテジー項目がほとんどを占めている。

表1 Strategy Inventory for Learning Kanjiのストラテジー項目

漢字学習ストラテジー：	
関連付け	新しく学習した漢字をすでに知っている漢字と結びつける。
	新しく学習した漢字をカタカナと結びつける。
	新しく学習した漢字を他の図形などと結びつける。
	新しく学習した漢字をアルファベットと結びつける。
	新しく学習した漢字を同じ意味を持つ別の漢字と結びつける。
	新しく学習した漢字を反対の意味を持つ別の漢字と結びつける。
	新しく学習した漢字を形が違うが同じ読み方をする漢字と結びつける。
	新しく学習した漢字を形が似ているが違う読み方をする漢字と結びつける。
	形が似ている漢字同士を、混乱ないように比較し、対比する。
ストーリー	漢字が私にとって何に見えるかに基づいたストーリーを作る。
	漢字の部品に基づいたストーリーを作る。
	教師から教わったストーリーを使う。

	参考書に載っていた漢字を覚えるためのストーリーを使う。
部首	同じ部首を持つ漢字のグループを作る。
	まず漢字の部首を思い出し、そこから漢字の全体を思い出す。
	漢字を部首の意味と結びつける。
繰り返し	わかるまで何度も書いて漢字を覚える。
	よく使う漢字を覚える。
経験	その漢字が思い浮かぶ個人的な経験と結びつける。
	必要になると思う漢字を覚える。
視覚化 / イメージ	頭の中で漢字を思い浮かべ、そのイメージを紙に書き写す。
	勉強するときに読んだ本のページ上で見えたように漢字を記憶する。
自己モニター	漢字のテストをして、わからなかった漢字をもう一度学習する。
	間違えた漢字を単語帳に書いていつでも見られるようにしておく。
	間違いやすい漢字をとことん練習する。
補償	知らない漢字を辞書で調べる。
	漢字についてよくわからないことがある時、他の人に質問する。
文脈	よく使う文脈で漢字を関連付けして覚える。
	新しい漢字を文に使って、文脈で覚える。
身体的 / 心理的反応	漢字を書いた感覚で覚える。
	何らかの理由で「好きではない」ためにある漢字を覚えた。
	特別に難しかったためにある漢字を覚えた。
	何らかの理由で「気に入った」漢字を覚えた。
音	日本語の音（読み方）と英単語の意味とを結びつける。
	英語の音と漢字の意味とを結びつける。
	日本語の音（読み方）とアルファベットとを結びつける。
	筆順や部首に名前を付けて、歌いながら覚える。
筆順	筆順を記憶して漢字を覚える。
	筆順の最初の一つを覚えておけば、残りは自然に思い出す。
	リズムで筆順を覚える。
学習を計画するストラテジー：	
学習計画	一日 / 一週間ごとに漢字を学習するための時間を設定する。
	繰り返し漢字を勉強するために単語帳を使う。
	漢字を練習するためにコンピュータを使う。
	できるだけ漢字を使う。 (例：授業中にノートをとるとき。 / 宿題を提出するとき。)
	漢字の参考書の情報を整理するためにラインを引く。
	本で調べたり人に聞いたりして良い漢字学習の方法を探す。
	授業で指定されたもの以外に、漢字学習用の教材を買う。
	図書館で漢字学習用の教材を借りる。

	一週間ごとに達成したい漢字学習のゴールや目的を設定する。
	どれだけの漢字を学習するか、長期間のゴールを設定する。
学習を評価する	学習した漢字を覚えているかどうか確かめるため、定期的にテストをする。
	私が知っている漢字のリストを残しておく。
	学習の進捗とその時の気持ちを記録するために漢字学習日記を書く。
他の人と協力する	他の人と協力して、一緒に練習する。
	漢字学習タスクについて感じたことを他の人と話し合う。
	自分の漢字学習を他の人にテストしてもらう。

漢字には、文字・表記と語彙との二つの性格がある。漢字一つ一つを「文字」として捉えると、漢字学習はひらがな・カタカタに続く文字・表記学習であり、この場合学習者が注意を向けるべき点は読み方や点画、線分の方向などの要素である。しかし、アルファベットのような表音文字と異なり、漢字は一字一字が意味を持つ単語となりえる「表語文字」でもある。それ故に、漢字を学習することは、それ自体が語彙学習ともなる（横須賀、1999）。加納（2000）によると、日本語の学習は「ひらがな→カタカナ→漢字」という文字学習と、「文型・聴解・会話」の語彙学習が並行して行われ、さらに学習が進むにつれて「読解・作文」のために必要な語彙として漢字語彙の数が加速的に増える。これは、学習が進むにつれて練習は聴解・会話中心から読解・作文が中心になるためである。それにもかかわらず、多くの場合、習得が進むにつれ、漢字の学習の大部分は学習者の自学自習に任されることになる（加納、1997;横須賀、1999）。そのため、学習者自身が自分に合った学習戦略を選択できるかどうか、学習の成功の可否を分けると考えられる。

以上のことを踏まえると漢字学習戦略だけでなく、漢字語彙学習戦略についても、詳しく取り上げる必要があると考えられる。そこで本研究では、学習者の漢字語彙学習戦略を収集し、SILKに続く漢字語彙学習戦略尺度を作成するための準備として、漢字語彙学習戦略リストの作成のための調査を行った。

1-2. 用語の定義

①学習戦略

戦略（Strategy）という言葉は、古代ギリシア語の *strategia* に由来し、日本語では「戦略」「方略」「方策」「方法」のように訳される。本来は、戦いに勝利するため、兵力や物資を最適な場所に配備する長期的・全体的な戦略、という意味を持つ言葉であった。そこから「目的を達成するための具体的な方策」という意味が派生し、現代においてはより一般的に、様々な分野で使用されるようになった。「戦略」という概念が初めて用いられたのは、中国春秋時代の『孫子』であったといわれている。『孫子』の一節には、「百戦百勝は、善の善なる者に非るなり。戦わずして人の兵を屈するは、善の善なる者なり。」とある。戦わずして勝つことが、最善であり、すなわち戦略とは、「戦いを略すこと」なのである。学習において、「戦わずして勝つこと」などありえない。しかしながら、学習をより速く、効率的・効果的に、楽しく（Oxford, 1990）するために、学習者は様々な試みを行っている。本研究では、この学習を略し、楽にするための試みを「学習戦略」と呼ぶ。

②漢字学習・漢字語彙学習

本研究における「漢字学習」と「漢字語彙学習」の区別について、ここで述べておく。Mori & Shimizu (2007) は、漢字語彙を形態論的に二つに分けている。一つは、部品（部首）の組み合わせによって構成される一文字の漢字である。例えば、「予」という漢字は、カタカナの「マ」のような部品と、「ア」のような部品の組み合わせである。この漢字そのものには、品詞的な役割はない。この漢字の場合、漢字そのものからは、どんな意味を持つ漢字であるか、明確にイメージすることは難しい。このように、一文字では明確な意味を持たない「文字としての漢字」を学習することを、本研究では「文字学習としての漢字学習」とし、今後は「漢字学習」と呼ぶこととする。一つは複数の漢字で構成される漢字語彙である。例えば、先ほど例に挙げた「予」一つでは意味がはっきりしないが、「予約」のように、他の漢字と組み合わせることによって、意味を持つ言葉になる。本研究では、このMori & Shimizuの解釈を拡大し、漢語、和語、混種語を問わず、漢字を一字以上含む語を、「漢字語彙」とし、これを学習することを「漢字語彙学習」と定義する。複数の漢字の組み合わせだけでなく、「予め」のように、漢字とひらがなの組み合わせで構成されるものも、漢字語彙とする。また、「星」「川」のように、一文字でも意味を明確にイメージできる語を、字形だけでなく意味や用法から学習する場合も、「漢字語彙学習」とする。すなわち、書き順を意識したり、字形に注意を向けたりする場合は「漢字学習」、意味や用法に注意する場合などは「漢字語彙学習」と判断する。

2. 調査1

2-1. 目的

非漢字圏出身の学習者のための漢字学習ストラテジー尺度の開発を目的として、学習者の漢字学習ストラテジーについてのインタビューを行った。

2-2. 調査対象者と調査期間

調査対象者は、2014年7月～8月にかけてH大学および広島県内の高等専門学校に留学中の非漢字圏出身の留学生24名および2014年3月にH大学を卒業し、すでに帰国した元留学生4名、日本人大学生18名であった。なお、本研究では非漢字圏出身者を中国・台湾・韓国・ベトナム以外の国・地域を出身地とするものを指す。現在韓国およびベトナムでは漢字が使用されていないが、かつて中国の支配下にあり漢字を使用していた時代があり、その時代の影響が現在にも、語彙の発音等に残っていることを考慮し、今回は調査対象から外した。

調査対象者の詳細は表2の通りである。なお、日本人の対象者については、表の掲載を省略する。

表2 調査対象者（学習者）

	出身国	学習歴	JLPT
L2-1	アメリカ	4年	
L2-2	アメリカ	5年	
L2-3	イラン	7年	
L2-4	マレーシア	2年	N2

	出身国	学習歴	JLPT
L2-5	タイ	3年	N3
L2-6	アメリカ	3年	
L2-7	タイ	2年	N3
L2-8	モンゴル	5年	N2
L2-9	インド	1.5年	
L2-10	インドネシア	7年	N2
L2-11	タイ	2年	
L2-12	タイ	7年	N2
L2-13	タイ	3年	
L2-14	タイ	6年	
L2-15	インドネシア	2年	
L2-16	インドネシア	5.5年	N2
L2-17	インドネシア	4年	N2
L2-18	インド	2.5年	
L2-19	インド	4年	N1
L2-20	スロバキア	4年	N2
L2-21	ラオス	4年	
L2-22	カンボジア	1.5年	
L2-23	モンゴル	5年	N2
L2-24	マレーシア	3年	
L2-25	インドネシア	2年	
L2-26	インドネシア	3年	N3
L2-27	インドネシア	5年	N2
L2-28	インドネシア	5年	N2

日本語学習者の調査対象者を選定するにあたっては、一定数以上の漢字学習経験が無ければ漢字語彙の学習経験が希薄であると考え、自己申告で500字以上の漢字を学習済みであることを条件とした。よって、日本語学習者の対象者は全員が少なくとも500字は何らかの形で漢字を勉強した経験を有する。

2-3. 方法

非漢字圏出身の日本語学習者が漢字語彙を学習する際に実際に用いたストラテジーを明らかにするため、調査対象者一人一人に対して、漢字の学習方法についてのインタビューを行った。日本国外にいるため直接会ってインタビューをすることができない対象者に対しては、Skypeのビデオ電話によるインタビューを行った。

インタビューは以下の項目に沿って実施した。

- ①授業で習った漢字は、どのように覚えているか。

②漢字テストのために、どのような勉強をするか。

③授業以外で、漢字の勉強のために行っていることはあるか。

本調査では漢字語彙を学習する際のストラテジーにのみに焦点を当てるため、その都度その方法は漢字一字を勉強するためのものか、漢字の言葉を勉強するためのものかをたずねた。

インタビューの内容はいずれもスマートフォンのボイスレコーダー機能を利用して録音し、インタビュー終了後内容を文字起こしし、テキスト化した。インタビューの所要時間は一人当たり30分から1時間であった。録音データを文字起こしするにあたり、インタビューとは関係ない雑談部分は除外し、文字化する発話部分の開始時間を括弧書きで記した。以下に、文字起こしの例（対象者L2-1）を一部掲載する。

(2:13)

I1: 漢字の勉強は苦手ですか？

P1: 読むのは大好き、得意ですけど、書くは難しい……

I2: 読むのは、何か面白い勉強をしたから得意になりましたか？

P2: 小説を読む……

I3: ああ、読書が好きなんですか。

P3: あと、研究のためにたくさん本を読んできて、それはとても役に立ちました。

I4: もちろん、日本語で？

P4: はい、日本語で。

I5: 研究のための本を読んでいて、わからない漢字が沢山ありますよね。そういう時は、どうしますか？

P5: 辞書を使って、調べて、リストを作る。

I6: ああ、分からなかった言葉の？

P6: はい、でも、何回もでると、覚えます。「考察」とか、「推進」とか。

I7: ああ、小説には出てこないけど、論文ではよくみますよね。

P7: はい。

I8: そのリストは、ノートみたいな感じですか？

P8: えっと、携帯電話のアプリです。

I9: アプリ。

P9: あの、アプリを使ったり……そのくらいかな。

I10: リストにした漢字は見るだけですか？

P10: あと、フラッシュカードも。読み方は最初は出ないんですけど、タッチしたら答えが出てくるんです。

I11: あ、Quizlet？

P11: はい、そうです。

I12: 私も見たことがあります。作ったことはないけど、自分だけの辞書ができて。

P12: でも、書く練習の仕方がないから、自分で何回も書かないと。

I13: そういう勉強の仕方をしたことがありますか？

P13: 漢字の試験の勉強するとき……

I14: 漢字検定？

P14: はい

I15: あんまり好きじゃないですか？

15: はい、何回も繰り返すと飽きてくるので、新しい勉強方法がほしいんですけど……書く……

文字起こしデータから、漢字語彙学習ストラテジーについて述べられている部分を抜粋した。上掲I2-1の例では、

- ・日本語で書かれた小説を読む。(P2)
- ・研究のために、日本語で書かれた学術書を読む。(P3)
- ・知らない漢字語彙を辞書で調べる。(P5)
- ・辞書で調べた漢字語彙のリストを作る。(P5)
- ・アプリでフラッシュカードを作る。(例: Quizlet) (P8)
- ・新しく覚えた漢字のリストをフラッシュカードにする。(P10)
- ・覚えたい漢字語彙を繰り返し書く。(P12)

が漢字語彙学習ストラテジーとして抽出される。複数の対象者が同じストラテジーについて述べている場合は、表現を一つに統一した。

2-4. 結果

インタビューの結果から、以下の87の語彙学習ストラテジーが抽出された。表3は、ストラテジーを使用した学習者が多い順で並べたものである(各ストラテジーの詳細は資料1に掲載)。「学習者/母語話者」の欄は、その学習ストラテジーを使用すると答えた対象者の区別を表す。

表3 抽出された漢字語彙学習ストラテジー

	漢字語彙学習ストラテジー	学習者(学)/ 母語話者(母)
1	たくさん漢字語彙を書いて練習する。	学・母
2	漢字学習用のアプリで漢字を調べる。	学
3	漢字語彙について、日本人の友達に質問する。	学
4	よく使う漢字語彙の意味を覚える。	学・母
5	街中の漢字語彙を注意して見る。	学・母
6	手書きができる辞書を使って漢字や漢字語彙を調べる。	学・母
7	漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の意味で推測する。	学・母
8	新しく覚えた漢字語彙のテストをする。	学・母
9	漢字テストのために勉強する。	学・母
10	友達と漢字についてのクイズを出し合う。	学・母
11	新しい漢字語彙のリストを作る。	学・母
12	漢字語彙リストを繰り返し見る。	学・母
13	漢字語彙のフラッシュカードを作る。	学

	漢字語彙学習ストラテジー	学習者(学)/ 母語話者(母)
14	すきま時間にフラッシュカードで繰り返し練習する。	学
15	漢字学習用のアプリで漢字語彙を覚える。	学
16	日本語で日本の漫画を読む。	学・母
17	テロップや字幕の漢字語彙の意味を調べる。	学・母
18	新しく漢字を勉強したとき、その漢字を含む漢字語彙と一緒に覚える。	学・母
19	よく使う漢字語彙の読み方を覚える。	学・母
20	街中の漢字語彙の意味を辞書で調べる。	学・母
21	日本の映画を見るとき、日本語の字幕をつける。	学
22	漢字学習のスケジュールを立てる。	学
23	漢字語彙の中で漢字の音読み・訓読みを覚える。	学・母
24	自分にとって重要な漢字語彙を覚える。	学・母
25	漢字学習用のアプリで漢字のクイズをする。	学
26	日本語の小説を読む。	学
27	日本語の学術書を読む。	学
28	ニュースを見るとき、テロップを注意して見る。	学・母
29	バラエティ番組を見るとき、テロップを注意して見る。	学・母
30	電子辞書を使って漢字語彙を調べる。	学・母
31	おもしろそうな教科書や参考書を自分で選ぶ。	学
32	複雑な漢字は漢字語彙として覚える。	学・母
33	心の中で繰り返し読み方を唱える。	学・母
34	新しい漢字語彙を含む例文を覚える。	学・母
35	自分で漢字語彙のルールを見つける。	学・母
36	前後の文脈で、漢字語彙の意味を推測する。	学・母
37	日本語で文章を書くとき、できるだけ知っている漢字語彙を使うようにする。	学・母
38	インターネットを使って漢字語彙の意味を調べる。	学・母
39	付箋に覚えたい漢字語彙を書いて自室やトイレの壁に貼り、繰り返し見る。	学
40	テストで間違えた漢字をたくさん書いて練習する。	学・母
41	漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。	学・母
42	漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。	学・母
43	日本語で書かれた新聞を読む。	学・母
44	日本語の歌の歌詞を読む。	学
45	友達と漢字語彙の成績を競い合う。	学・母
46	漢字語彙と一緒に読み方を書いて覚える。	学・母
47	自分にとって面白い漢字語彙を覚える。	学・母
48	漢字学習用のパソコンソフトで漢字語彙を覚える。	学・母
49	新しい漢字を含む例文をたくさん書いて練習する。	学・母

	漢字語彙学習ストラテジー	学習者(学)/ 母語話者(母)
50	新しく覚えた漢字語彙の復習をして、忘れていたら何回も書いて練習する。	学・母
51	テレビを常に日本語の字幕が出る設定にする。	学
52	日本人の名前で漢字を覚える。	学
53	日本語で書かれたニュースをインターネットで読む。	学
54	日本語で書かれた日本の雑誌を読む。	学
55	決まった日に漢字を勉強する。	学・母
56	友達と漢字語彙の勉強方法についての情報を交換する。	学
57	漢字語彙について、先生に質問する。	学・母
58	漢字語彙を書いた紙を、実物に貼って覚える。	学
59	新しい漢字語彙を勉強したとき、そこに含まれる漢字と一緒に覚える。	学・母
60	授業のノートはできるだけ漢字を使って書く。	学・母
61	アニメを見るとき、日本語の字幕をつける。	学
62	ドラマやアニメの中に登場した看板やポスターなどの漢字語彙を注意して見る。	学
63	メモをするとき、できるだけ漢字を使って書く。	学・母
64	ブラウザに翻訳(辞書)アドオンを設定して、インターネットで日本語の文章を読むとき漢字語彙の意味を調べる。	学
65	アニメやドラマのタイトルに使われている漢字語彙を覚える。	学
66	テストの前にフラッシュカードで繰り返し練習する。	学・母
67	イメージで漢字語彙を覚える。	学・母
68	教科書の文中の覚えたい漢字語彙に下線を引く。	学
69	同じカテゴリーの漢字語彙と一緒に覚える。	学・母
70	新しい漢字語彙の対義語と一緒に覚える。	学・母
71	新しい漢字語彙の同音異義語と一緒に覚える。	学・母
72	新しい漢字語彙を使った文を作る。	学・母
73	漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字で推測する。	学・母
74	日本人が書いたブログを読む。	学
75	日本のドラマを見るとき、日本語の字幕を付ける。	学
76	日本語でテレビゲームをする。	学
77	日本のテレビゲームをしながら、分からない漢字語彙を辞書で調べる。	学
78	カラオケの歌詞の漢字を注意して見る。	学
79	文章を書くとき、自分が選んだ漢字語彙が正しいかどうか、辞書で調べる。	学・母
80	SNSの記事を日本語で書く。	学
81	スマートフォンの言語環境を日本語に設定する。	学
82	紙の辞書で漢字語彙を調べる。	学・母
83	辞書で調べた漢字語彙に印をつけておいて、後で見直す。	学・母
84	どれが自分にとって重要な漢字語彙かを判断する。	学・母

	漢字語彙学習ストラテジー	学習者(学)/ 母語話者(母)
85	本やインターネットで漢字の勉強方法を探す。	学
86	漢字検定を受験する。	学・母
87	間違いを恐れずに漢字を使うよう自分を励ます。	学

インタビューの結果、SILLやSILKよりもより詳細な漢字語彙学習ストラテジー項目の抽出をすることができた。以下に、既存の漢字学習ストラテジーでは取り上げられてこなかった項目を抜粋し、具体的な例を述べる。

今回対象となった学習者の多くが「7. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の意味で推測する。」ストラテジーを使用しているが、SILKには推測に関するストラテジーは皆無であった。漢字の特性である表意性による語彙の意味推測は、漢字語彙に特徴的な学習ストラテジーであり、多くの漢字学習者によって使用されているストラテジーであると考えられる。

7. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の意味で推測する。

漢字語彙の意味が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の意味から漢字語彙の意味を推測する。

【例】「夜食」の意味が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「夜」と「食」の意味から、「夜に食べること」「夜に食べるもの」だと推測する。(L2-2)

36. 前後の文脈で、漢字語彙の意味を推測する。

【例】「郵便局へ行ってはがきと切手を買う。」という文中の「郵便局」の意味が分からないとき、後ろの「はがきと切手を買う」という部分から、「郵便局」の意味を推測する。(L2-23)

41. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。

漢字語彙の意味が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の部首の持つ意味から漢字語彙の意味を推測する。

【例】「運転」の意味が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「転」に「車」が含まれていることから、「車」に関する漢字語彙だと推測する。(L2-21)

42. 漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。

漢字語彙の読み方が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の部首から漢字語彙の読み方を推測する。

【例】「購入」の読み方が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「購」の旁「勹」を使う漢字「講」「構」を「こう」と読むことから、「こうにゆう」という読み方を推測する。(L2-23)

73. 漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字で推測する。

漢字語彙の読み方が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の読み方から漢字語彙

の読み方を推測する。

【例】「音読」の読み方が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「音」と「読」の読み方がそれぞれ「おん」「どく」であることから、「おんどく」という読み方を推測する。(L2-19)

また、様々なメディアの音声を可視化して、日常生活に漢字語彙の学習を取り入れる工夫をしている学習者がいることが明らかになった。

21. 日本の映画を見るとき、日本語の字幕をつける。

DVDなどで日本の映画を観賞する際、日本語の字幕が出る設定にする。

28. ニュースを見るとき、テロップを注意して見る。

日本のニュース番組を見るとき、表示されるテロップの漢字語彙を注意して見る。

29. バラエティ番組を見るとき、テロップを注意して見る。

日本のバラエティ番組を見るとき、表示されるテロップの漢字語彙を注意して見る。

51. テレビを常に日本語の字幕が出る設定にする。

自宅のテレビの設定を、日本語字幕が表示される設定に変える。「字幕放送」の設定があるテレビ番組は、この設定をすることで放送内容が字幕で表示されるようになる。

61. アニメを見るとき、日本語の字幕をつける。

DVDなどで日本のアニメを観賞するとき、日本語の字幕が出る設定にする。

75. 日本のドラマを見るとき、日本語の字幕を付ける。

DVDなどで日本のドラマを観賞するとき、日本語の字幕が出る設定にする。

スマートフォンなどのIT機器の普及を反映した学習方法も、多数報告された。多くの学習者はスマートフォンに辞書アプリをダウンロードしており、紙の辞書や電子辞書は持っていないという学習者もいる。また、日本語学習支援アプリにはフラッシュカードを作成できるものがあり、多くの学習者が従来の小さな紙のカードに代えて視覚的な繰り返し練習に役立っていた。

2. 漢字学習用のアプリで漢字を調べる。

漢字学習用のスマートフォン・タブレットアプリを使って漢字語彙の意味を調べる。

【例】スマートフォン用アプリ「imiwa」を使って、漢字語彙の意味を調べる。(L2-4他)

15. 漢字学習用のアプリで漢字語彙を覚える。

漢字学習用のスマートフォン・タブレットアプリを使って漢字語彙を覚える。

【例】スマートフォン用アプリ「KanjiBox」を使って漢字語彙を覚える。(L2-20他)

25. 漢字学習用のアプリで漢字のクイズをする。

漢字学習用のスマートフォン・タブレットアプリを使って漢字語彙のクイズをする。アプリによって、自分が作った語彙リストから出題されるものや、日本語能力検定試験の問題から出題されるものがある。

【例】スマートフォンアプリ「Japanese」のJLPT対応フラッシュカードを使って自分の漢字語彙の知識でクイズをする。(L2-20)

81. スマートフォンの言語環境を日本語に設定する。

スマートフォンやアプリの言語環境を日本語に設定する。

「漫画」や「アニメソングの歌詞」など、学習者自身が興味を持っているポップカルチャーを学習に取り入れる例も見られた。

16. 日本語で日本の漫画を読む。

日本の漫画本を日本語で読む。

44. 日本語の歌の歌詞を読む。

日本の歌の歌詞を読む。音楽を聴きながら読むことで、漢字語彙の読み方も同時にインプットされる。

【例】好きなアニメの主題歌（アニメソング）の歌詞を覚えるために、CDを聞きながら歌詞を読む。(L2-7)

62. ドラマやアニメの中に登場した看板やポスターなどの漢字語彙を注意して見る。

DVDなどで日本のドラマやアニメを観賞する際、映像中に登場する漢字語彙を注意して見るようにする。

【例】テレビアニメの映像に「〇〇学園」という校名を掲げた看板が登場したのを見て、「学園」というのは学校のことだと理解した。(L2-18)

65. アニメやドラマのタイトルに使われている漢字語彙を覚える。

日本のドラマやアニメのタイトルに使われている漢字語彙を覚える。

【例】テレビアニメのタイトル「涼宮ハルヒの憂鬱」を見て、「憂鬱」という漢字語彙を覚える。(L2-7)

その他、既存の漢字学習ストラテジー研究で取り扱われていないストラテジーに、「52. 日本人の名前の漢字を覚える。」「74. 日本語で書かれたブログを読む。」というものがあった。前者は、日本人の名前に使われている漢字の意味を調べ、その漢字を使用する語彙についての知識も増やすという学習方法だが、そのきっかけとなる「日本人」には、身近な友人や研究室の仲間だけでなく、学習者が応援している芸能人も含まれている。「ブログを読む」についても同様に、好きなアイドルやタレントについてもっと知りたいという欲求が、学習につながっている例である。

52. 日本人の名前で漢字を覚える。

知り合いの日本人や、有名人の名前に使われている漢字・漢字語彙、あるいは名前から連想される漢字語彙を覚える。

【例】 同じ研究室にいる日本人学生の名前に使われている漢字を覚える。(L2-10)

【例】 「生駒里奈」というアイドルの名前をきっかけに「(将棋の) 駒」「里」「古里」「奈良」などの漢字語彙を覚える。(L2-17)

74. 日本人が書いたブログを読む。

日本人が書いたブログなどの記事を読む。アイドルやタレント、俳優などの芸能人がよくブログを執筆している。

【例】 応援しているアイドルのブログを読む。(L2-17)

以上のように、学習者は従来の研究では明らかにされてこなかった様々な方法で漢字語彙を学習しているということがインタビューの結果から明らかになった。

日本語学習者と日本語母語話者との違いについては、日本語母語話者の多くは意識せずとも日常的に膨大な漢字語彙を目にするため、漢字学習のために日本語で書かれた書籍等を読むという例は少なかった。ただし漫画については、漢字すべてにルビが振られており読みやすいため、楽しみながら漢字を学習する方法として漫画を取り入れていた、という母語話者もいた。また、多くの母語話者が小・中学生として漢字学習を意識的に行っていたころには、まだスマートフォンやタブレット端末等の機器が普及していなかったため、学習アプリ等を使用した学習の例は見られなかった。

2-5. 考察

非漢字圏学習者および日本語母語話者に対するインタビューの結果から、非漢字圏出身の学習者が漢字語彙を学習する際に用いる戦略を特定し、その特徴を明らかにしたうえで、漢字語彙学習戦略の分類を試みた。その結果、学習者は漢字という文字の持つ「表意性」という特徴を生かし、語彙の意味推測を行う戦略を取り入れていることが分かった。また、近年急速に普及したスマートフォンなどのIT機器を用いた学習方法が多く報告された。また、テレビ番組を視聴する際に、字幕やテロップによって日本語の会話の音声可視化できることを学習に生かしている学習者がいることも分かった。このような戦略は、学習者の学習行動の観察だけでは得ることのできない結果であったと考える。また、中村(1997)等の先行研究で明らかにされていた「文脈の使用」について、「読む」「書く」双方について、数種類の具体的な戦略を明らかにすることができた。学習者がどのような文章を読んでいるのかを教師が知ることで、文の性質に応じた手助けが可能になるのではないかと考えられる。

3. 調査2

3-1. 目的

調査1で得られた戦略項目をもとにアンケート調査を実施し、漢字語彙学習ストラ

テジー尺度の開発を試みる。

3-2. 調査対象者と調査期間

【日本語母語話者】

日本語を母語とする大学生以上の日本人153名を対象とした。調査は2015年1月16日～2月26日に行われた。

【日本語学習者】

日本語を学習している大学生以上の非漢字圏出身の学習者155名を対象とした。対象者の国籍はアメリカ、イギリス、インド、インドネシア、オーストラリア、スウェーデン、タイ、フィリピン、マレーシア、モンゴルであった。調査は2015年2月15日～3月10日に行われた。

3-3. 方法

アンケートには、SurveyMonkey¹というWEBアンケート用のサービスを利用した。日本語母語話者には日本語版を、日本語学習者には英語版と日本語版を用意した（アンケート調査用紙は資料2を参照のこと）。WEB上でアンケートの回答を募り、得られた回答をもとに、探索的因子分析を行った。統計的処理には、統計ソフトR（Version 3.0.2）を使用した。

3-4. 結果

【日本語母語話者】

まず、全87項目について記述統計を確認したところ、いくつかの質問項目で回答の度数分布の偏りが見られた。そこで、回答の平均が2以下の項目および一つの度数に50%以上回答が集まっている項目を削除した。この時点で、59項目となった。

次に残りの59項目に対して最尤法による因子分析を行った。相関係数からなる相関行列を作り固有値を求めた結果、9因子構造が妥当であると考えられた。そこで再度9因子を仮定して最尤法・Promax回転による因子分析を行った。その結果、十分な因子負荷量を示さなかった12項目および共通性が0.3未満の項目も削除し、再度最尤法・Promax回転による因子分析を行った。さらに3項目を削除した後、再び最尤法・Promax回転による分析を行った。最終的に、項目数は41となった。最終的な因子分析結果を表4に示す。

第1因子は10項目で構成されており、「54. 日本語で書かれた日本の雑誌を読む」「16. 日本語で日本の漫画を読む」「80. SNSの記事を書く」など、自然な文脈に積極的に触れようとする内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで「自然な文脈」因子と命名した。

第2因子は7項目で構成されており、「24. 自分にとって重要な漢字語彙を覚える」「84. どれが自分にとって重要な漢字語彙かを判断する」「47. 自分にとって面白い漢字語彙を覚える」「31. おもしろそうな教科書や参考書を自分で選ぶ」など、情緒面に関する内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで、SILKの分類の一つである「身体的・心理的反応」から名前を借りて「心理的反応」因子と命名した。

第3因子は5項目で構成されており、「40. テストで間違えた漢字をたくさん書いて練習す

¹ SurveyMonkey <https://jp.surveymonkey.com/>

表4 【日本語母語話者】因子分析結果

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	第6因子	第7因子	第8因子	第9因子	共通性
Q44	0.744	-0.138	0.047	-0.044	0.03	0.208	0.073	0.126	0.031	0.562
Q54	0.714	0.272	-0.255	0.024	0.099	0.026	0.087	-0.163	0.084	0.673
Q16	0.714	0.189	-0.018	-0.037	0.074	0.114	0.051	-0.048	-0.038	0.641
Q74	0.705	0.188	-0.088	-0.141	-0.108	-0.037	-0.152	0.146	0.056	0.451
Q53	0.7	0.122	-0.096	0.032	-0.077	0.199	0.003	0.119	0.157	0.651
Q76	0.686	-0.015	0.058	0.006	0	0.075	-0.096	0.058	-0.02	0.419
Q80	0.664	-0.023	-0.179	-0.06	0.052	0.041	-0.029	0.144	-0.006	0.484
Q28	0.557	-0.031	-0.105	0.104	-0.179	0.221	0.085	0.355	0.095	0.394
Q27	0.554	0.297	-0.088	0.067	0.08	0.038	0.076	-0.036	0.333	0.521
Q26	0.505	0.467	-0.036	0.064	0.095	0.253	0.046	0.052	0.012	0.577
Q4	0.039	0.729	0.077	0.248	0.101	0.164	0.135	-0.124	0.019	0.742
Q24	0.156	0.61	-0.035	0.196	0.043	0.057	0.238	0.157	0.102	0.497
Q84	0.046	0.568	-0.004	0.136	0.159	-0.118	0.032	0.212	0.28	0.484
Q47	0.164	0.433	-0.026	0.195	0.172	0.278	0.18	0.337	0.285	0.563
Q31	0.338	0.414	-0.019	-0.027	0.147	-0.001	0.167	0.145	0.061	0.360
Q23	0.032	0.398	0.149	0.211	0.369	0.089	0.138	0.018	-0.103	0.444
Q19	0.088	0.394	0.084	0.111	-0.04	0.132	0.271	0.067	0.049	0.262
Q40	-0.186	-0.027	0.907	0.023	0.202	0.101	0.075	-0.063	0.103	0.789
Q1	-0.05	0.059	0.748	0.146	0.08	0.086	0.255	-0.017	-0.061	0.702
Q9	-0.19	0.042	0.666	-0.013	-0.078	0.002	-0.112	0.103	-0.125	0.674
Q50	0.032	0.069	0.523	0.008	0.148	0.027	0.284	-0.038	-0.052	0.474
Q8	-0.263	0.003	0.473	0.063	-0.002	-0.01	0.387	0.05	-0.078	0.425
Q41	-0.033	0.143	0.001	0.805	0.12	-0.149	0.293	0.054	0.154	0.898
Q42	-0.123	0.176	0.13	0.746	0.219	-0.033	0.109	0.019	0.165	0.670
Q7	0.014	0.548	0.101	0.629	0.083	0.166	0.158	-0.022	-0.217	0.796
Q36	-0.053	0.318	-0.127	0.537	0.029	0.008	-0.069	-0.128	-0.12	0.436
Q30	0.076	0.179	0.199	0.497	-0.083	0.171	-0.053	0.116	0.194	0.394
Q67	0.062	-0.016	-0.266	0.3	0.028	0.103	0.142	0.227	-0.224	0.371
Q71	0.052	-0.017	0.059	0.158	0.791	0.152	0.003	0.178	-0.044	0.612
Q69	-0.023	0.223	-0.001	0.063	0.71	0.042	0.19	0.131	0.193	0.718
Q70	-0.06	0.187	0.226	0.058	0.608	-0.028	0.324	0.086	0.125	0.589
Q63	0.268	0.107	0.017	0.003	0.137	0.908	0.12	0.106	0.029	0.995
Q60	0.244	0.1	0.172	0.097	0.145	0.693	0.002	0.134	0.192	0.611
Q18	-0.02	0.171	0.078	0.146	0.123	0.076	0.764	-0.054	0.041	0.430
Q59	0.029	0.272	0.278	0.141	0.23	0.105	0.64	0.095	0.187	0.673
Q5	0.258	0.185	-0.014	0.097	0.336	0.185	0.088	0.695	0.017	0.796
Q87	0.083	0.148	0.061	-0.088	0.29	0.18	0.025	0.559	-0.022	0.446
Q62	0.46	-0.012	-0.033	0.044	0.025	-0.057	0.034	0.534	0.19	0.706
Q17	0.428	0.157	-0.01	0.105	0.176	0.253	-0.021	0.471	0.289	0.603
Q38	0.211	0.045	-0.029	0.049	0.093	0.085	0.117	0.095	0.734	0.539
Q79	0.04	0.264	-0.064	0.184	-0.015	0.213	0.24	-0.004	0.488	0.419
固有値:	4.738	4.022	3.314	2.511	2.322	2.297	2.272	1.935	1.485	
寄与率:	0.113	0.096	0.079	0.06	0.055	0.055	0.054	0.046	0.035	
累計寄与率:	0.113	0.209	0.287	0.347	0.403	0.457	0.511	0.557	0.593	

る」「1. たくさん漢字語彙を書いて練習する」など機械的な繰り返しを伴う練習についての内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで「繰り返し練習」因子と命名した。

第4因子は5項目で構成されており、「42. 漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する」「7. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の意味で推測する」「36. 前後の文脈で、漢字語彙の意味を推測する」「30. 電子辞書を使って漢字語彙を調べる」など、未知の語彙に遭遇した際の対処法についての内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで「理解のための補償」因子と命名した。

第5因子は3項目で構成されており、「71. 新しい漢字語彙の同音異義語を一緒に覚える」「69. 同じカテゴリーの漢字語彙を一緒に覚える」「70. 新しい漢字語彙の対義語を一緒に覚える」など、漢字語彙を関連する別の漢字語彙と結びつけて記憶する内容の項目が高い負荷量を示していた。そこでSILKの分類を参考にして「語彙間の関連付け」因子と命名した。

第6因子は2項目で構成されており、「60. 授業のノートはできるだけ漢字を使って書く」など、漢字語彙をできる限り使用しようとする項目が高い負荷量を示していたため、「使用促進」因子と命名した。

第7因子は2項目で構成されており「18. 新しく漢字を勉強したとき、その漢字を含む漢字語彙を一緒に覚える」「59. 新しい漢字語彙を勉強したとき、そこに含まれる漢字を一緒に覚える」というように、漢字語彙をその語彙そのものの情報と結びつけて覚えようとする項目が高い負荷量を示していた。そこで「語彙内の関連付け」因子と命名した。

第8因子は4項目で構成されており「5. 街中の漢字語彙を注意して見る」「62. ドラマやアニメの中に登場した看板やポスターなどの漢字語彙を注意して見る」「17. テロップや字幕の漢字語彙の意味を調べる」というように、身の回りの漢字語彙に注意を向けるための項目が高い負荷量を示していた。そこで「注意喚起」因子と命名した。

第9因子は「38. インターネットを使って漢字語彙の意味を調べる」「79. 文章を書くとき、自分が選んだ漢字語彙が正しいかどうか、辞書で調べる」という2項目で構成されており、漢字語彙を産出する際に必要な知識を補うための項目が高い負荷量を示していた。そこで「産出のための補償」因子と命名した。

なお、クロンバックの α 係数はいずれの因子でも0.7以上あり、高いとは言えないものの、ある程度の妥当性は保証されるものと考えられる。

【日本語学習者】

日本語母語話者の場合と同様に、全87項目について記述統計を確認したところ、いくつかの質問項目で回答の度数分布の偏りが見られた。そこで、回答の平均が2以下の項目および一つの度数に50%以上回答が集まっている項目を削除した。この時点で、54項目となった。

次に残りの54項目に対して最尤法による因子分析を行った。相関係数からなる相関行列を作り固有値を求めた結果、8因子構造が妥当であると考えられた。そこで再度8因子を仮定して最尤法・Promax回転による因子分析を行った。その結果、十分な因子負荷量を示さなかった項目および共通性が0.3未満の項目も削除し、再度最尤法・Promax回転による因子分析を行った。最終的な因子分析結果を表5に示す。最終的に36項目となった。

表5 【日本語学習者】因子分析結果

	第1因子	第2因子	第3因子	第4因子	第5因子	第6因子	第7因子	第8因子	共通性
Q44	0.791	0.02	-0.06	-0.062	-0.144	0.127	0.022	0.251	0.720
Q16	0.789	-0.125	0.207	0.074	0.1	-0.176	-0.018	-0.078	0.682
Q74	0.652	-0.263	-0.004	-0.017	0.298	-0.109	-0.05	0.022	0.688
Q53	0.578	0.226	-0.101	0.102	-0.058	0.084	0.151	-0.231	0.479
Q80	0.475	-0.244	0.391	-0.065	0.182	0.117	-0.099	0.007	0.484
Q28	0.471	0.217	-0.155	0.361	-0.019	0.33	-0.098	-0.093	0.434
Q26	0.366	0.305	-0.059	0.101	0.022	0.002	0.156	-0.012	0.649
Q4	-0.099	0.902	0.004	0.031	0.404	-0.07	-0.121	-0.067	0.830
Q24	-0.105	0.819	0.019	-0.002	-0.06	-0.019	0.047	0.025	0.468
Q84	0.118	0.566	0.232	-0.084	0.383	0.122	-0.151	0.024	0.730
Q47	0.122	0.534	0.337	-0.185	-0.166	-0.141	-0.026	0.435	0.666
Q31	-0.464	0.491	0.393	0.017	0.383	0.098	0.082	0.097	0.698
Q19	0.122	0.387	0.317	0.021	-0.253	0.285	0.074	-0.094	0.658
Q40	0.022	0.186	0.774	-0.024	0.103	-0.081	0.075	-0.144	0.634
Q1	-0.009	-0.096	0.667	0.252	0.001	0.12	-0.072	0.152	0.720
Q9	0.199	0.056	0.559	-0.182	0.18	0.089	0.085	-0.023	0.636
Q50	0.414	0.089	0.52	0.15	-0.225	-0.194	0.101	0.198	0.755
Q41	-0.079	-0.071	-0.067	0.84	0.039	-0.177	0.254	0.416	0.666
Q7	0.147	0.018	0.025	0.782	0.144	-0.096	-0.015	-0.069	0.706
Q30	-0.08	-0.065	0.41	0.482	-0.014	0.155	0.139	0.098	0.718
Q38	0.103	0.127	0.148	0.424	0.402	-0.326	0.3	0	0.879
Q79	-0.004	-0.181	0.048	0.329	0.707	0.062	-0.02	0.112	0.525
Q63	0.138	0.262	0.184	0.095	0.529	0.039	-0.152	0.14	0.698
Q60	0.141	0.18	0.096	-0.093	0.483	0.037	-0.075	0.291	0.816
Q37	0.124	0.137	-0.233	-0.246	0.352	-0.173	0.33	0.062	0.478
Q68	0.298	0.207	-0.138	-0.07	0.334	0.098	0.047	0.151	0.762
Q18	-0.094	-0.076	0.045	-0.071	-0.003	0.777	-0.049	0.019	0.730
Q59	0.039	0.023	0.055	-0.192	0.063	0.765	0.069	0.082	0.656
Q34	0.276	-0.062	0.015	-0.138	0.198	0.406	0.389	-0.237	0.392
Q5	0.113	-0.199	0.097	0.072	-0.079	0.004	0.7	-0.024	0.464
Q87	0.083	0.089	0.237	0.301	-0.054	-0.179	0.611	-0.144	0.513
Q62	-0.134	-0.09	0.547	-0.178	0.052	0.13	0.566	0.059	0.595
Q17	-0.202	0.195	-0.21	0.167	-0.085	0.356	0.535	0.051	0.703
Q71	-0.061	-0.024	0.333	0.016	0.172	0.031	-0.066	0.624	0.509
Q69	-0.007	0.114	-0.309	0.242	0.244	0.048	-0.122	0.546	0.626
Q70	0.07	-0.187	0.225	0.144	0.072	0.144	0.067	0.486	0.617
固有値:	3.442	3.287	3.281	2.735	2.545	2.263	2.244	1.83	
寄与率:	0.091	0.086	0.086	0.072	0.067	0.06	0.059	0.048	
累計寄与率:	0.091	0.177	0.263	0.335	0.402	0.462	0.521	0.569	

第1因子は7項目で構成されており、「44. 日本語の歌の歌詞を読む」「16. 日本語で日本の漫画を読む」「74. 日本人が書いたブログを読む」「53. 日本語で書かれたニュースをインターネットで読む」など、自然な文脈に積極的に触れようとする内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで、日本語母語話者の場合と同様、「自然な文脈」因子と命名した。

第2因子は6項目で構成されており、日本語母語話者の場合と同様に、「24. 自分にとって重

要な漢字語彙を覚える」「84. どれが自分にとって重要な漢字語彙かを判断する」「47. 自分にとって面白い漢字語彙を覚える」「19. よく使う漢字語彙の読み方を覚える」など、情緒面に関する内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで、SILKの分類の一つである「身体的・心理的反応」から名前を借りて「心理的反応」因子と命名した。

第3因子は4項目で構成されており、「40. テストで間違えた漢字をたくさん書いて練習する」「1. たくさん漢字語彙を書いて練習する」など機械的な繰り返しを伴う練習についての項目が高い負荷量を示した。そこで、母語話者のときと同じく、「繰り返し練習」因子と命名した。

第4因子は4項目で構成されており、「41. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する」「30. 電子辞書を使って漢字語彙を調べる」など、未知の語彙に遭遇した際の対処法についての内容の項目が高い負荷量を示していた。そこで「補償」因子と命名した。

第5因子は5項目で構成されており、「60. 授業のノートはできるだけ漢字を使って書く」「63. メモをするとき、できるだけ漢字を使って書く」「37. 日本語で文章を書くとき、できるだけ知っている漢字語彙を使うようにする」など、漢字語彙を自ら進んで使用することに関する項目が高い負荷量を示していたため、「使用促進」因子と命名した。

第6因子は3項目で構成されており、「18. 新しく漢字を勉強したとき、その漢字を含む漢字語彙と一緒に覚える」「59. 新しい漢字語彙を勉強したとき、そこに含まれる漢字と一緒に覚える」「34. 新しい漢字語彙を含む例文を覚える」など、語彙そのものの持つ情報と漢字語彙を結びつけて記憶する内容の項目が高い負荷量を示していた。そこでSILKの分類を参考に、「語彙内の関連付け」因子と命名した。

第7因子は4項目で構成されており「5. 街中の漢字語彙を注意して見る」「62. ドラマやアニメの中に登場した看板やポスターなどの漢字語彙を注意して見る」「17. テロップや字幕の漢字語彙の意味を調べる」というように、身の回りの漢字語彙に注意を向けて、それを学習に生かす項目が高い負荷量を示していた。そこで「注意喚起」因子と命名した。

第8因子は3項目で構成されており「同じカテゴリーの漢字語彙と一緒に覚える」「新しい漢字語彙の対義語と一緒に覚える」というように、漢字語彙を関連する別の漢字語彙と結びつけて記憶する内容の項目が高い負荷量を示していた。そこでSILKの分類をもとに、「語彙間の関連付け」因子と命名した。

なお、クロンバックの α 係数はいずれの因子でも0.8以上あり、妥当性は保証されるものと考えられる。

4. まとめと今後の展望

本研究では、非漢字圏学習者に対するインタビューの結果から、非漢字圏出身の学習者が漢字語彙を学習する際に用いるストラテジーを特定し、その特徴を明らかにしたうえで、漢字語彙学習ストラテジーの分類を試みた。

まず、インタビューの結果、学習者は漢字という文字の持つ「表意性」という特徴を生かし、語彙の意味推測を行うストラテジーを取り入れていることが分かった。また、近年急速に普及したスマートフォンなどのIT機器を用いた学習方法が多く報告された。また、テレビ番組を視聴する際に、字幕やテロップによって日本語の会話の音声が可視化できることを学習に生かしている学習者がいることも分かった。このようなストラテジーは、学習者の学習行動の

観察だけでは得ることのできない結果であったと考える。また、中村（1997）等の先行研究で明らかにされていた「文脈の使用」について、「読む」「書く」双方について、数種類の具体的なストラテジーを明らかにすることができた。学習者がどのような文章を読んでいるのかを教師が知ることで、文の性質に応じた手助けが可能になるのではないかと考えられる。

アンケート調査の結果からは、既存の漢字学習・語彙学習ストラテジー研究では報告されてこなかった「使用促進」「自然な文脈」「注意喚起」のストラテジー分類を発見することができた。また、日本語母語話者と日本語学習者との間で、因子モデルには大きな違いが見られないことが明らかになった。これには、調査の対象とした日本語母語話者が、漢字学習を盛んに行っていた時期より数年を経てから回答を行っていることにより、回答の傾向に差が出なかったことが原因として考えられる。

日本語学習者・日本語母語話者を対象にインタビューを実施したことにより、具体的で詳細な漢字語彙学習ストラテジーのリストを作成することができた。このリストを参照することにより、漢字学習の方法に悩む学習者に新たな学習方法のアイデアを提供することができると考えられる。一方、「漢字語彙学習ストラテジー尺度」としては、未だ完成にはいたっておらず、さらに多くの調査対象者を募っての検証的因子分析の実施を通して、尺度の完成を目指していきたい。

付記

本研究の一部は、広島大学大学院研究科の川元志織が2014年度修士論文研究の一部として行ったものである。

本研究の趣旨を理解し、快く協力してくださったすべての皆様に、心から感謝いたします。

参考文献

- 加納千恵子（1997）「非漢字圏学習者の漢字力と習得過程」『日本語教育論文集—小出詞子先生退職記念—』 pp. 257-268, 凡人社.
- 加納千恵子（2000）「中上級学習者に対する漢字語彙教育の方法」『筑波大学留学生センター日本語教育論集』 15, pp. 35-46
- 中村重穂（1997）「日本語学習者の漢字学習ストラテジーに関する調査と考察」『日本語教育研究』 33, pp. 107-122, 言語文化研究所.
- 横須賀柳子（1999）「語彙及び漢字学習ストラテジーの研究」宮崎里司・J. V. ネウストプニー編『日本語教育と日本語学習』 pp. 97-116, くろしお出版.
- Bourke, B. (1996) *Maximising efficiency in the kanji learning task*. Doctoral Dissertation. University of Queensland.
- R. L., Oxford, (1990). *Language learning strategies: What every teacher should know*. Boston: Heinle & Heinle. (宍戸通庸・伴紀子訳（1994）『言語学習ストラテジー 外国語教師が知っておかなければならないこと』 凡人社.)
- Y. Mori, & H. Shimizu, (2007) Japanese Language Students' Attitudes Toward Kanji and Their Perceptions on Kanji Learning Strategies. *Foreign Language Annals*, 40, pp. 472-490.

資料1 漢字語彙学習ストラテジー例および詳細

1. たくさん漢字語彙を書いて練習する。

漢字語彙を覚えるために、ただ繰り返し漢字語彙を書いて練習する。同じ語彙を繰り返し書く場合と、リストなどの語彙を繰り返し何度も書く場合がある。

2. 漢字学習用のアプリで漢字を調べる。

漢字学習用のスマートフォン・タブレットアプリを使って漢字語彙の意味を調べる。

【例】スマートフォン用アプリ「imiwa」を使って、漢字語彙の意味を調べる。(L2-4他)

3. 漢字語彙について、日本人の友達に質問する。

漢字語彙の意味・読み方・用法などについて分からないとき、日本人の友人に質問する。

【例】器具の説明書などに書いてある言葉について、同じ研究室の日本人に質問する。(L2-18)

4. よく使う漢字語彙の意味を覚える。

自分がよく使用する、あるいはよく目にする漢字語彙の意味を優先的に覚えるようにする。漢字を読む必要はないため、意味だけを優先的に覚える。

【例】お得に買い物をするため、スーパーなどで目にする「割引」の意味を覚える。(L2-14)

【例】「立入禁止」「土足禁止」など、よく目にする注意書きの漢字語彙の意味を覚える。(L2-10)

5. 街中の漢字語彙を注意して見る。

日常生活の中で目にする看板やポスター、チラシ、注意書きなどに使われている漢字語彙を注意して見るようにする。

【例】大学内の掲示板に貼ってあるポスターに書かれている漢字語彙を注意して読む。(L2-16他)

【例】電車での移動中、中吊り広告を読み、使われている漢字語彙を注意して見る。(L2-9)

6. 手書きができる辞書を使って漢字や漢字語彙を調べる。

手書き機能付きの辞書（電子辞書、IMEパッド等）で漢字語彙について調べる。誤った筆順では認識されないため、正しい筆順を覚える必要がある。

7. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の意味で推測する。

漢字語彙の意味が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の意味から漢字語彙の意味を推測する。

【例】「夜食」の意味が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「夜」と「食」の意味から、「夜に食べること」「夜に食べるもの」と推測する。(L2-2)

8. 新しく覚えた漢字語彙のテストをする。

新しく勉強した漢字語彙がちゃんと覚えられているかどうかを確認するテストを自分で

る。一般的なテストの形ではなく、語彙リストの漢字部分を隠し、読み方や意味だけで漢字語彙が書けるかどうかを確かめたり、フラッシュカードでの確認をしたりする場合もある。

9. 漢字テストのために勉強する。

日本語の授業の漢字テストのために勉強する。

10. 友達と漢字語彙についてのクイズを出し合う。

友人に漢字語彙についてのクイズを出してもらい、あるいは自分が漢字語彙についてのクイズを出す。

【例】漢字テストの前に、友人にテスト範囲の漢字語彙を読み上げてもらい、ノートや黒板にその漢字語彙を書く。(L2-28)

11. 新しい漢字語彙のリストを作る。

新しく覚える漢字のリストを作る。リストには覚えたい漢字語彙の他に、読み方、意味、用例などを併記する場合が多い。

【例】研究に関係する専門用語の漢字語彙リストを作る。(L2-12)

12. 漢字語彙リストを繰り返し見る。

自らが作成した語彙リスト、あるいは既製の語彙リストを繰り返し読む。

【例】指導教員が作ってくれた専門用語の語彙リストを繰り返し見て覚える。(L2-15)

13. 漢字語彙のフラッシュカードを作る。

覚えたい漢字語彙をフラッシュカードにする。実際に小さなカードで作成する場合と、スマートフォンアプリなどを使って作成する場合がある。カードの一方の面に覚えたい漢字語彙を、もう一方の面に読み方や意味を書いておく場合が多い。

【例】スマートフォンアプリ「KanjiBox」のフラッシュカード機能を使って自分用の漢字語彙フラッシュカードを作る。(L2-16)

14. すきま時間にフラッシュカードで繰り返し練習する。

電車での移動時間や授業の合間、夜寝る前などのすきま時間に自らが作成したフラッシュカード、あるいは既製のフラッシュカードを繰り返し見る。

15. 漢字学習用のアプリで漢字語彙を覚える。

漢字学習用のスマートフォン・タブレットアプリを使って漢字語彙を覚える。

【例】スマートフォン用アプリ「KanjiBox」を使って漢字語彙を覚える。(L2-20他)

16. 日本語で日本の漫画を読む。

日本の漫画本を日本語で読む。

17. テロップや字幕の漢字語彙の意味を調べる。

テレビ番組のテロップ、字幕に使われた漢字語彙のうち、意味の分からないものの意味を調べる。

【例】ニュース番組のテロップに使われた漢字語彙の意味をスマートフォンアプリを使って調べる。(L2-10 他)

18. 新しく漢字を勉強したとき、その漢字を含む漢字語彙を一緒に覚える。

新しく漢字を勉強するとき、その漢字が使われる漢字語彙についても同時に勉強する。

【例】「食」という漢字を習ったとき、辞書で「食」の用例を調べて、「朝食」「食堂」「食器」などの漢字語彙の読み方や意味を一緒に覚える。(L2-3)

19. よく使う漢字語彙の読み方を覚える。

自分がよく使用する、あるいはよく目にする漢字語彙の読み方を覚えるようにする。意味の理解は必要としないため、読み方だけを優先的に覚える。

【例】ドアに掲げられている研究室名の読み方や実験器具名の読み方を覚える。(L2-14)

20. 街中の漢字語彙の意味を辞書で調べる。

日常生活の中で目にする看板やポスター、チラシ、注意書きなどに使われている漢字語彙の意味が分からないとき、辞書を使って調べる。

【例】火災予防を訴えるポスターに書かれている「火の用心」の意味が分からないとき、その場で、あるいはメモをしておいて後から辞書で調べる。(L2-17)

21. 日本の映画を見るとき、日本語の字幕をつける。

DVDなどで日本の映画を観賞する際、日本語の字幕が出る設定にする。

22. 漢字学習のスケジュールを立てる。

長期的な、あるいは短期間の漢字学習のスケジュールを作成し、それに沿って学習を進める。「試験合格」などの具体的な目標を達成するためにスケジュールを立てる場合もある。

23. 漢字語彙の中で漢字の音読み・訓読みを覚える。

新しく覚えた漢字語彙で使われている読み方で、漢字の音読み・訓読みについての知識を増やしていく。

【例】「日」という漢字について、「日本」「月曜日」「休日」「朝日」など、新しく語彙を覚えるたびにその読み方を新たに覚える。(L2-23)

24. 自分にとって重要な漢字語彙を覚える。

宗教、研究、生活など様々な面で、自分にとって重要な漢字語彙を覚えるようにする。

【例】宗教上の理由で避けなければならない「豚肉」「酒」などの漢字語彙を覚える。(L2-15 他)

【例】「一時停止」「有料道路」など、自動車を運転するときに覚えておかなければならない漢字語彙を覚える。(L2-18)

25. 漢字学習用のアプリで漢字のクイズをする。

漢字学習用のスマートフォン・タブレットアプリを使って漢字語彙のテストをする。アプリによって、自分が作った語彙リストから出題されるものや、日本語能力検定試験の問題から出題されるものがある。

【例】スマートフォンアプリ「Japanese」のJPLT対応フラッシュカードを使って自分の漢字語彙の知識をテストする。(L2-20)

26. 日本語の小説を読む。

日本の小説、あるいは日本語に翻訳された小説を読む。

27. 日本語の学術書を読む。

日本語で書かれた学術書、あるいは論文を読む。

28. ニュースを見るとき、テロップを注意して見る。

日本のニュース番組を見るとき、表示されるテロップの漢字語彙を注意して見る。

29. バラエティ番組を見るとき、テロップを注意して見る。

日本のバラエティ番組を見るとき、表示されるテロップの漢字語彙を注意して見る。

30. 電子辞書を使って漢字語彙を調べる。

電子辞書を使って漢字語彙について調べる。漢字語彙の読み方や、漢字の部首を知っている必要がある。

31. おもしろそうな教科書や参考書を自分で選ぶ。

自分にあう漢字語彙学習のための教科書や参考書を探し、使ってみる。

32. 複雑な漢字は漢字語彙として覚える。

字形や意味が複雑な漢字は、漢字一字で覚えるのではなく、その漢字が使われる漢字語彙として覚える。

【例】「際」という漢字はよく目にする「国際」「実際」などの語彙として覚えるようにし、「際」そのものの意味は特に気にしない。(L2-7)

33. 心の中で繰り返し読み方を唱える。

新しく漢字語彙を覚えるとき、書いたり声に出して読み上げたりせず、漢字語彙を見ながら心の中で繰り返し読み方を唱える。

34. 新しい漢字語彙を含む例文を覚える。

新しく漢字語彙を覚えるとき、教科書などに載っている例文をまるごと覚える。

35. 自分で漢字語彙のルールを見つける。

漢字を覚えるのに役立つ漢字語彙のルールを自分で見つけて学習に生かす。

【例】漢字とひらがなが組み合わさってできる漢字語彙は、訓読みで読めることが多い。(L2-6)

36. 前後の文脈で、漢字語彙の意味を推測する。

【例】「郵便局へ行ってはがきと切手を買う。」という文中の「郵便局」の意味が分からないとき、後ろの「はがきと切手を買う」という部分から、「郵便局」の意味を推測する。(L2-23)

37. 日本語で文章を書くとき、できるだけ知っている漢字語彙を使うようにする。

日本語で文章を書くとき、母語や英語・ひらがなでなく、できるだけ自分が知っている漢字語彙を使うようにする。

【例】メールを書くとき、知っている漢字語彙をできるだけ使うようにする。(L2-15)

38. インターネットを使って漢字語彙の意味を調べる。

インターネットの検索エンジンや辞書サービス、翻訳サービスを使って漢字語彙の意味を調べる。コンピュータ上のものであればコピー&ペーストで調べることができるが、そうでない場合は漢字語彙の読み方を知っている必要がある。

【例】漢字語彙の意味が分からないとき、「Google 翻訳」で母語に翻訳する (L2-18)。

【例】漢字語彙の意味は分からないとき、「Google」で検索して調べる。(L2-9他)

39. 付箋に覚えたい漢字語彙を書いて自室やトイレの壁に貼り、繰り返し見る。

付箋などの紙に覚えたい漢字語彙を書き、自室の壁や天井、ドア、トイレの壁など日常生活で自然と目に入る場所に貼り付け、繰り返し見られるようにする。

【例】テストに出る漢字語彙を紙に書いて天井に貼り、起きたら一番に目に入るようにしておく。(L2-24)

40. テストで間違えた漢字をたくさん書いて練習する。

漢字テストなどで間違えた漢字語彙を集中的に見直し、何度も繰り返し書いて練習する。

41. 漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。

漢字語彙の意味が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の部首の持つ意味から漢字語彙の意味を推測する。

【例】「運転」の意味が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「転」に「車」が含まれていることから、「車」に関する漢字語彙だと推測する。(L2-21)

42. 漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。

漢字語彙の読み方が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の部首から漢字語彙の読み方を推測する。

【例】「購入」の読み方が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「購」の旁「勹」を使う漢字「講」「構」を「こう」と読むことから、「こうにゅう」という読み方を推測する。(L2-

23)

43. 日本語で書かれた新聞を読む。

日本の新聞を読む。

44. 日本語の歌の歌詞を読む。

日本の歌の歌詞を読む。音楽を聴きながら読むことで、漢字語彙の読み方も同時にインプットされる。

45. 友達と漢字語彙の成績を競い合う。

クラス内で、あるいはSNSなどを用いて漢字学習の進度やクイズの成績などを競い合う。

【例】「Kanji Box」という漢字学習用のスマートフォンアプリは、漢字語彙に関するクイズの成績がランキング形式で表示されるので、誰が一番成績が良いかをクラスメイトと競う。(L2-20)

【例】漢字テストの前に、いくつ漢字語彙を覚えたかを、黒板に書けるだけ書いてその数を競う。(L2-5他)

46. 漢字語彙と一緒に読み方を書いて覚える。

漢字語彙を覚える際、漢字語彙だけでなくその読み方も一緒に書くようにする。

【例】ノートに繰り返し漢字語彙を書いて練習をするとき、漢字語彙の上に漢字の読み方も繰り返し書く。(L2-28)

47. 自分にとって面白い漢字語彙を覚える。

何らかの事情で面白いと感じた漢字語彙、興味を持った漢字語彙を覚えるようにする。

【例】「タマワルさん」という母国の友人の名前と同じ読み方をすることが面白くて「賜る」という漢字語彙を覚えた。(L2-5)

【例】地図を見て、日本の地名の漢字を覚える。(L2-17)

48. 漢字学習用のパソコンソフトで漢字語彙を覚える。

漢字学習用のコンピュータソフトやウェブサービスを使って漢字語彙を覚える。

【例】ウェブサービス「Zkanji」を使って漢字語彙を覚える。(L2-10)

【例】タイピングゲームを使って漢字語彙の正しい変換の仕方を覚える。(L2-16)

49. 新しい漢字を含む例文をたくさん書いて練習する。

教科書などに載っている例文を何度も繰り返し書いて練習する。

50. 新しく覚えた漢字語彙の復習をして、忘れていたら何回も書いて練習する。

新しく勉強した漢字語彙がちゃんと覚えられているかどうかを確かめて、忘れてしまった漢字語彙があればそれを繰り返し書いて練習する。

【例】夜寝る前にその日に覚えた漢字語彙の復習をして、忘れていた漢字語彙を繰り返し書く。

(L2-26)

51. テレビを常に日本語の字幕が出る設定にする。

自宅のテレビの設定を、日本語字幕が表示される設定に変える。「字幕放送」の設定があるテレビ番組は、この設定をすることで放送内容が字幕で表示されるようになる。

52. 日本人の名前で漢字を覚える。

知り合いの日本人や、有名人の名前に使われている漢字・漢字語彙、あるいは名前から連想される漢字語彙を覚える。

【例】同じ研究室にいる日本人学生の名前に使われている漢字を覚える。(L2-10)

【例】「生駒里奈」というアイドルの名前をきっかけに「(将棋の) 駒」「里」「古里」「奈良」などの漢字語彙を覚える。(L2-17)

53. 日本語で書かれたニュースをインターネットで読む。

インターネットで日本語で書かれたニュースを読む。

54. 日本語で書かれた日本の雑誌を読む。

ファッション誌、旅の情報誌、アイドル情報誌などの日本の雑誌を読む。

55. 決まった日に漢字を勉強する。

一週間のうち、あるいは一日の中で、漢字語彙学習のための学習時間を設定する。

【例】日本語の授業がない金曜日の午後を漢字語彙を勉強するための時間にする。(L2-8)

56. 友達と漢字語彙の勉強方法についての情報を交換する。

友人に漢字語彙の勉強方法を教えてもらう、あるいは自分が友人に漢字語彙の勉強方法を教える。

【例】クラスメイトに漢字学習用のスマートフォンアプリを紹介してもらい、自分も使用してみる。(L2-26 他)

【例】友達がインターネットで日本語の記事を読むときに使っている機能を紹介してもらう。(L2-18)

57. 漢字語彙について、先生に質問する。

漢字語彙の意味・読み方・用法などについて分からないとき、日本語教師に質問する。

58. 漢字語彙を書いた紙を、実物に貼って覚える。

身の回りにあるものに、そのものの名前を漢字で書いて貼り付けておき、繰り返し見られるようにする。

【例】冷蔵庫に「冷蔵庫」、目覚まし時計に「目覚まし時計」と書いた紙を貼って、自然と目に入るようにしておく。(L2-21)

59. 新しい漢字語彙を勉強したとき、そこに含まれる漢字を一緒に覚える。

新しく漢字語彙を勉強するとき、その漢字語彙に含まれる漢字の読み方や意味を同時に勉強する。

【例】「東京」という漢字語彙をならったとき、辞書で「東」「京」の漢字の意味や他の読み方、書き順について調べ、一緒に覚える。(L2-15)

60. 授業のノートはできるだけ漢字を使って書く。

授業中にノートを取るとき、母語や英語・ひらがなでなく、知っている漢字語彙や、板書された漢字語彙を使うようにする。

61. アニメを見るとき、日本語の字幕をつける。

DVDなどで日本のアニメを観賞するとき、日本語の字幕が出る設定にする。

62. ドラマやアニメの中に登場した看板やポスターなどの漢字語彙を注意して見る。

DVDなどで日本のドラマやアニメを観賞する際、映像中に登場する漢字語彙を注意して見るようにする。

【例】テレビアニメの映像に「〇〇学園」という校名を掲げた看板が登場したのを見て、「学園」というのは学校のことだと理解した。(L2-18)

63. メモをするとき、できるだけ漢字を使って書く。

メモを取るとき、母語や英語・ひらがなでなく、できるだけ自分が知っている漢字語彙を使うようにする。

【例】手帳にスケジュールを書き込むとき、漢字を使って書くようにする。(L2-2)

【例】ゼミ中に先生の話を書き留めるとき、できるだけ漢字を使う。(L2-3)

64. ブラウザに翻訳（辞書）アドオンを設定して、インターネットで日本語の文章を読むとき漢字語彙の意味を調べる。

インターネットブラウザのアドオン機能に日本語翻訳・日本語辞書を追加し、インターネットで日本語のホームページを閲覧する際、分からない漢字語彙の意味を調べる。

【例】インターネットブラウザ「FireFox」で利用できる「Rikai-chan」というアドオンを利用し、日本語のウェブニュースを読むとき、意味の分からない漢字語彙を翻訳する。(L2-18、L2-16)

65. アニメやドラマのタイトルに使われている漢字語彙を覚える。

日本のドラマやアニメのタイトルに使われている漢字語彙を覚える。

【例】テレビアニメのタイトル「涼宮ハルヒの憂鬱」を見て、「憂鬱」という漢字語彙を覚える。(L2-7)

66. テストの前にフラッシュカードで繰り返し練習する。

テスト勉強として、自らが作成したフラッシュカード、あるいは既製のフラッシュカードを

繰り返し見る。

67. イメージで漢字語彙を覚える。

自分で考えた、あるいは教科書などを参考にしたイメージを結びつけて、漢字語彙の意味や読み方を覚える。

【例】三日月に雲がかかっているイメージから、「月」という漢字語彙の意味を覚える。(L2-21)

【例】立ち入り禁止のマークと一緒に「立ち入り禁止」という漢字語彙を覚える。(L2-10)

【例】手帳のイメージと一緒に「予定」という漢字語彙を覚える。(L2-10)

68. 教科書の文中の覚えたい漢字語彙に下線を引く。

教科書中の覚えたい漢字語彙に下線を引き、後で教科書を読み直す際に注意して見たり、辞書で調べたり、繰り返し書いて練習するための目印にする。

69. 同じカテゴリーの漢字語彙を一緒に覚える。

部首、意味、使用される場面・分野などによって漢字語彙を分類し、同じカテゴリーに分類される漢字語彙を一緒に覚える。

【例】「黒板」「教科書」「消しゴム」「机」など、「学校（教室）」に関する漢字語彙を一度に覚える。(L2-14)

【例】「彳（さんずい）」を部首に持つ漢字を含む漢字語彙を一度に覚える。(L2-2他)

70. 新しい漢字語彙の対義語を一緒に覚える。

新しく漢字語彙を覚えるとき、その漢字語彙とは反対の意味を持つ漢字語彙も同時に覚える。

【例】新しく「危険」を覚えるとき、「安全」も一緒に覚える。(L2-14)

71. 新しい漢字語彙の同音異義語を一緒に覚える。

新しく漢字語彙を覚えるとき、その漢字語彙と同じ読み方をする漢字語彙も同時に覚える。

【例】新しく「暑い」を覚えるとき、「熱い」「厚い」も一緒に覚える。(L2-14)

72. 新しい漢字語彙を使った文を作る。

新しい漢字語彙を使って例文を作る。

【例】テストに出る漢字を全部使って意味のある一文を作り、覚える。(L2-17)

73. 漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字で推測する。

漢字語彙の読み方が分からないとき、その漢字語彙を構成する漢字の読み方から漢字語彙の読み方を推測する。

【例】「音読」の読み方が分からないとき、この漢字語彙を構成する漢字「音」と「読」の読み方がそれぞれ「おん」「どく」であることから、「おんどく」という読み方を推測する。(L2-19)

74. 日本人が書いたブログを読む。

日本人が書いたブログなどの記事を読む。アイドルやタレント、俳優などの芸能人がよくブログを執筆している。

75. 日本のドラマを見るとき、日本語の字幕を付ける。

DVDなどで日本のドラマを観賞するとき、日本語の字幕が出る設定にする。

76. 日本語でテレビゲームをする。

日本のテレビゲームを日本語でプレイする。

77. 日本のテレビゲームをしながら、分からない漢字語彙を辞書で調べる。

日本語でテレビゲームをしているとき、画面に現れる漢字語彙について辞書で調べる。

78. カラオケの歌詞の漢字を注意して見る。

カラオケ店で自分が歌を歌うとき、あるいは他の人が歌っているのを聞くと、画面に表示される歌詞を注意して見る。歌詞には通常振り仮名が振ってあるので、辞書で調べるのが容易。

79. 文章を書くとき、自分が選んだ漢字語彙が正しいかどうか、辞書で調べる。

発表資料、レポート、SNSの記事など、日本語で文章を書くとき、自分が書いた漢字語彙が正しいかどうかを辞書で調べて確かめる。

80. SNSの記事を日本語で書く。

ソーシャルネットワーキングサービス（SNS）を使って日記などの記事を書くとき、日本語を理解できる人に向けて日本語で記事を書くようにし、できるだけたくさん漢字語彙を使う機会を設ける。

【例】FaceBookに日本語で記事を書いて投稿する。（L2-12）

81. スマートフォンの言語環境を日本語に設定する。

スマートフォンやアプリの言語設定を日本語に設定する。

82. 紙の辞書で漢字語彙を調べる。

紙の辞書（国語辞典、漢和辞書等）で漢字語彙について調べる。未知語彙を検索する際には、漢字語彙の読み方や、漢字の部首を知っている必要がある。

【例】アプリで調べてもすぐ言葉を忘れてしまうが、紙の辞書で調べるとずっと忘れない。（L2-8）

83. 辞書で調べた漢字語彙に印をつけておいて、後で見直す。

知らない漢字語彙を辞書で調べたとき、語彙に目印をつけておいて後で見直しができるようにしておく。

84. どれが自分にとって重要な漢字語彙かを判断する。

宗教、研究、生活など様々な面で、必要な語彙を優先的に覚えるため、どれが自分にとって重要な漢字語彙であるかを判断する。

【例】食事に関係する語彙の中でも、宗教上の理由で避けるべき「豚」や「酒」などに関する漢字語彙を覚えるべき語彙の優先順位の上位に位置づける。(L2-24)

85. 本やインターネットで漢字の勉強方法を探す。

自分にあう漢字語彙の勉強方法がないかどうか、本やインターネットで探す。

【例】日本語学習情報サイト「にほんごe-な」で面白い漢字学習サービスを探す。(L2-27)

86. 漢字検定を受験する。

漢字能力検定試験を目標として設定し、合格に向けて勉強をする。

87. 間違いを恐れずに漢字を使うよう自分を励ます。

漢字語彙を誤った使い方をしたり、間違った漢字を書いてしまったりすることを恐れず、様々な場面で漢字語彙を積極的に使っていけるよう自分の気持ちを高める。

資料2 漢字語彙学習ストラテジーアンケート（日本語版）

漢字を勉強するときに使う勉強方法を明らかにするためのテスト

このアンケートは、日本語学習者としてあなたがどのようにして漢字を学習しているかの情報を集めるために作成されたものです。中に、漢字学習の様々な方法に関する文が表記されています。それらの文を読み、その方法を使用する頻度として当てはまる回答を1、2、3、4、5から選んで答えてください。

- 1 全く、あるいはほとんど使用しない
- 2 あまり使用しない
- 3 時々使用する
- 4 よく使用する
- 5 いつも、あるいはほとんどいつも使用する

このテストには正解や間違った答えはありません。また、「よいスコア」があるわけでもありません。みなさんはそれぞれが独自の課題への取り組み方を持っています。このテストは、あなたのストラテジー使用の傾向をまとめ、自分自身のストラテジー使用についての気づきを促し、まだ使用したことのない他のストラテジーを紹介するのに役立ちます。

	漢字語彙の勉強方法	頻度				
		いつも使う	よく使う	時々使う	あまり使わない	全く使わない
1	漢字語彙と一緒に読み方を書いて覚える。	5	4	3	2	1
2	新しい漢字語彙のリストを作る。	5	4	3	2	1
3	漢字語彙リストを繰り返し見る。	5	4	3	2	1
4	漢字語彙のフラッシュカードを作る。	5	4	3	2	1
5	テストの前にフラッシュカード（漢字語彙）で繰り返し練習する。	5	4	3	2	1
6	すきま時間にフラッシュカード（漢字語彙）で繰り返し練習する。	5	4	3	2	1
7	付箋に覚えたい漢字語彙を書いて自室やトイレの壁に貼り、繰り返し見る。	5	4	3	2	1
8	漢字語彙を書いた紙を、実物に貼って覚える。	5	4	3	2	1
9	新しく漢字を勉強したとき、その漢字を含む漢字語彙と一緒に覚える。	5	4	3	2	1
10	新しい漢字語彙を勉強したとき、そこに含まれる漢字と一緒に覚える。	5	4	3	2	1
11	複雑な漢字は漢字語彙として覚える。	5	4	3	2	1
12	漢字語彙の中で漢字の音読み・訓読みを覚える。	5	4	3	2	1
13	よく使う漢字語彙の読み方を覚える。	5	4	3	2	1
14	よく使う漢字語彙の意味を覚える。	5	4	3	2	1
15	漢字語彙を覚えるとき、心の中で繰り返し読み方を唱える。	5	4	3	2	1
16	教科書の文中の覚えたい漢字語彙に下線を引く。	5	4	3	2	1
17	自分にとって面白い漢字語彙を覚える。	5	4	3	2	1
18	自分にとって重要な漢字語彙を覚える。	5	4	3	2	1

	漢字語彙の勉強方法	いつも使う					全く使わない
		5	4	3	2	1	
19	同じカテゴリーの漢字を一緒に覚える。	5	4	3	2	1	
20	新しい漢字語彙の対義語を一緒に覚える。	5	4	3	2	1	
21	新しい漢字語彙の同音異義語を一緒に覚える。	5	4	3	2	1	
22	新しい漢字語彙を含む例文を覚える。	5	4	3	2	1	
23	新しい漢字語彙を使った文を作る。	5	4	3	2	1	
24	漢字学習用のスマホアプリで漢字語彙を覚える。(例: KanjiBox など)	5	4	3	2	1	
25	漢字学習用のパソコンソフトで漢字語彙を覚える。	5	4	3	2	1	
26	漢字学習用のアプリで漢字のクイズをする。(例: Japanese など)	5	4	3	2	1	
27	たくさん漢字語彙を書いて練習する。	5	4	3	2	1	
28	新しい漢字を含む例文をたくさん書いて練習する。	5	4	3	2	1	
29	テストで間違えた漢字をたくさん書いて練習する。	5	4	3	2	1	
30	新しく覚えた漢字語彙の復習をして、忘れていたら何回も書いて練習する。	5	4	3	2	1	
31	テレビを常に日本語の字幕が出る設定にする。	5	4	3	2	1	
32	自分で漢字語彙のルールを見つける。	5	4	3	2	1	
33	授業のノートはできるだけ漢字を使って書く。	5	4	3	2	1	
34	日本語で日本の漫画を読んで、分からない漢字語彙を辞書で調べる。	5	4	3	2	1	
35	漢字語彙の意味を含まれるその語彙に含まれる漢字の意味で推測する。	5	4	3	2	1	
36	漢字語彙の意味をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。	5	4	3	2	1	
37	漢字語彙の読み方をその語彙に含まれる漢字の部首で推測する。	5	4	3	2	1	
38	文の前後関係で、漢字語彙の意味を推測する。	5	4	3	2	1	
39	日本人の名前で漢字を覚える。	5	4	3	2	1	
40	日本語で日本の漫画を読む。	5	4	3	2	1	
41	日本語で書かれた新聞を読む。	5	4	3	2	1	
42	日本語で書かれたニュースをインターネットで読む。	5	4	3	2	1	
43	日本語の歌の歌詞を読む。	5	4	3	2	1	
44	日本語の小説を読む。	5	4	3	2	1	
45	日本語の学術書を読む。	5	4	3	2	1	
46	日本人が書いたブログを読む。	5	4	3	2	1	
47	日本語で書かれた日本の雑誌を読む。	5	4	3	2	1	
48	街中の漢字語彙を注意して見る。	5	4	3	2	1	
49	街中の漢字語彙の意味を辞書で調べる。	5	4	3	2	1	
50	日本の映画を見るとき、日本語の字幕をつける。	5	4	3	2	1	
51	日本のドラマを見るとき、日本語の字幕を付ける。	5	4	3	2	1	
52	アニメを見るとき、日本語の字幕をつける。	5	4	3	2	1	
53	ドラマやアニメの中に登場した看板やポスターなどの漢字語彙を注意して見る。	5	4	3	2	1	

	漢字語彙の勉強方法	使う頻度				
		いつも使う	よく使う	たまに使う	ほとんど使わない	全く使わない
54	ニュースを見るとき、テロップを注意して見る。	5	4	3	2	1
55	バラエティ番組を見るとき、テロップを注意して見る。	5	4	3	2	1
56	テロップや字幕の漢字語彙の意味を調べる。	5	4	3	2	1
57	日本語でテレビゲームをする。	5	4	3	2	1
58	日本のテレビゲームをしながら、分からない漢字語彙を辞書で調べる。	5	4	3	2	1
59	カラオケの歌詞の漢字を注意して見る。	5	4	3	2	1
60	日本語で文章を書くとき、できるだけ知っている漢字語彙を使うようにする。	5	4	3	2	1
61	文章を書くとき、自分が選んだ漢字語彙が正しいかどうか、辞書で調べる。	5	4	3	2	1
62	SNSの記事を日本語で書く。	5	4	3	2	1
63	メモをするとき、できるだけ漢字を使って書く。	5	4	3	2	1
64	スマートフォンの設定環境を日本語に設定する。	5	4	3	2	1
65	ブラウザに翻訳(辞書)アドオンを設定して、インターネットで日本語の文章を読むとき漢字語彙の意味を調べる。(例: Rikai-chan など)	5	4	3	2	1
66	漢字学習用のアプリで漢字を調べる。(例: imiwa など)	5	4	3	2	1
67	国語辞典で漢字語彙を調べる。	5	4	3	2	1
68	手書きができる辞書を使って漢字や漢字語彙を調べる。	5	4	3	2	1
69	電子辞書を使って漢字や漢字語彙を調べる。	5	4	3	2	1
70	インターネットの翻訳サイトを使って漢字語彙の意味を調べる。	5	4	3	2	1
71	辞書で調べた漢字語彙に印をつけておいて、後で見直す。	5	4	3	2	1
72	新しく覚えた漢字語彙のテストをする。	5	4	3	2	1
73	どれが自分にとって重要な漢字語彙かを判断する。	5	4	3	2	1
74	書道の練習をする。	5	4	3	2	1
75	本やインターネットで漢字の勉強方法を探す。	5	4	3	2	1
76	漢字テストのために勉強する。	5	4	3	2	1
77	おもしろそうな教科書や参考書を自分で選ぶ。	5	4	3	2	1
78	決まった日に漢字を勉強する。	5	4	3	2	1
79	漢字学習のスケジュールを立てる。	5	4	3	2	1
80	漢字検定を受験する。	5	4	3	2	1
81	友達と漢字についてのクイズを出し合う。	5	4	3	2	1
82	友達と漢字の勉強方法についての情報を交換する。	5	4	3	2	1
83	友達と漢字の成績を競い合う。	5	4	3	2	1
84	漢字・漢字語彙について、日本人の友達に質問する。	5	4	3	2	1
85	漢字語彙について、先生に質問する。	5	4	3	2	1
86	アニメやドラマのタイトルに使われている漢字語彙を覚える。	5	4	3	2	1
87	間違いを恐れずに漢字を使うよう自分を励ます。	5	4	3	2	1